

養キス上場で高値4500円

クラハシ、全国卸へも出荷

広島・福山

【広島】広島県福山市の福山地方卸売市場に18日、同市場卸のクラハシ（天野文男社長）が福山大とともに生産した完全養殖のシロギス「びんごの姫」が350尾（約1

・7キ）初上場した。クラハシは関東、中部、関西、九州の各卸へも出荷し、計9000尾（約45キ）を販売した。

シロギスは50号超のサイズが主体で、1箱20尾入り。35号程度の小型魚も含め相対で取引され、4500～3400円の価格帯で中心値は4000円弱。全国でしげが続いている環境もあり、高値での取引となった。

初出荷された養殖シロギス「びんごの姫」



同市場仲

という声も出ているという。クラハシは「見た目の美しさや自社の処理による鮮度保持にも高評価が得られた。生産場所である沖縄の伊平屋養殖場で、さらに品質の向上に努めていく」と話す。年末に2度目の水揚げ出荷を予定しており、需要が高い時期にも対応する。

東京・豊洲市場の今年4月から10月のキスの相場は、平均価格がキロ4052円だった。直近の10月には同3482円と安値で推移。今回、初上

場した養殖キス「びんごの姫」の相場は、天然物にも劣らない価格が付いた。

